

財務省第2入札等監視委員会 平成30年度第2回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成31年1月18日（金） 仙台国税局地下1階共用会議室	
委員	委員長 青木 雅明（東北大学会計大学院長） 委員 高木 龍一郎（東北学院大学法学部法学研究科教授） 委員 成田 由加里（公認会計士）	
審議対象期間	平成30年7月1日（日）～ 平成30年9月30日（日）	
抽出案件	4件	（備考）
競争入札（公共工事）	3件	契約件名：（H30）鹿島住宅（1・2号棟）量水器取替工事 契約相手方：株式会社フクセツ（法人番号 4380001003448） 契約金額：2,894,400円 契約締結日：平成30年9月18日 担当部局：東北財務局福島財務事務所
		契約件名：仙台国税局広瀬寮二重サッシ化その他工事 契約相手方：有限会社スガリョウサッシ（法人番号 5370502000489） 契約金額：32,076,000円 契約締結日：平成30年9月13日 担当部局：仙台国税局
		契約件名：青森第二合同庁舎ほか1施設の直流電源装置更新その他工事 契約相手方：株式会社GSユアサ東北支社（法人番号 5130001028411） 契約金額：12,420,000円 契約締結日：平成30年9月20日 担当部局：仙台国税局
随意契約（公共工事）	一件	
競争入札（物品役務等）	1件	契約件名：（H30）小浜住宅ほか85住宅建物定期点検業務 契約相手方：旭防災設備株式会社（法人番号 5010901000539） 契約金額：8,532,000円 契約締結日：平成30年7月19日 担当部局：東北財務局
随意契約（物品役務等）	一件	
応札（応募）業者数1者関連	1件	※ 競争入札（公共工事）（H30）鹿島住宅（1・2号棟）量水器取替工事に同じ
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	次葉のとおり	次葉のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

意 見 ・ 質 問	回 答
【事案１】 契 約 件 名：（H30）鹿島住宅（１・２号棟）量水器取替工事 契約相手方：株式会社フクセツ （法人番号 4380001003448） 契 約 金 額：2,894,400円 契約締結日：平成30年９月18日 担 当 部 局：東北財務局福島財務事務所 １者応札となった要因は何か。 落札率が低かった要因は何か。 【事案２】 契 約 件 名：仙台国税局広瀬寮二重サッシ化その他工事 契約相手方：有限会社スガリョウサッシ （法人番号 5370502000489） 契 約 金 額：32,076,000円 契約締結日：平成30年９月13日 担 当 部 局：仙台国税局 より現場に近い仙台市内の業者よりも低い入札金額となっているが、労務費を圧迫した入札金額となっていないか。 入札参加業者を増やすために、どのような工夫をしたのか。	他の管工事業者からは、既に他の工事を受注しており参加できなかったと聞いている。東日本大震災の影響により公共工事等の発注が多く、人材不足等が影響しているものと考えている。 落札業者から提出された工事費内訳書によると、当局予定価格とは諸経費で差が見られた。 落札業者は、過去に当局発注の同種工事を受注した経験を生かし効率的な施工が可能であると判断し、諸経費を抑えて入札した結果と考えている。 遠方からの移動であるも、比較的交通の便が良いことから、移動時間約１時間と仙台市内の業者と条件面であり差がなく、通常の積算金額で入札したと聞いている。 今回は、ホームページ及び業界新聞への掲載依頼により参加申込みがあったが、それでも参加者が見込まれないときは、取引実績のある業者等へ声掛けを行っている。
【事案３】 契 約 件 名：青森第二合同庁舎ほか１施設の直流電源装置更新その他工事 契約相手方：株式会社ＧＳユアサ東北支社 （法人番号 5130001028411） 契 約 金 額：12,420,000円 契約締結日：平成30年９月20日 担 当 部 局：仙台国税局 落札率がかなり低いが、適正な予定価格だったのか。 最高入札金額が最低入札金額の約３倍となり、入札金額にかなり幅があるが、過去の入札ではどのような状況だったのか。	過去の実績を参考に、今回も同様の方法で積算したが、工事規模が異なる等の要因により低入札となっており、結果として予定価格が高かったと分析している。今後、工事規模等も十分考慮し、より適正な予定価格の算定に努めていきたい。 過去の入札は、建物規模や機器仕様が異なり、契約金額一千万円以下だった案件であり、最高入札金額と最低入札金額はそれほど差はなかった。

意 見 ・ 質 問	回 答
【事案４】 契 約 件 名：（H30）小浜住宅ほか85住宅建物定期点検業務 契約相手方：旭防災設備株式会社 （法人番号 5010901000539） 契 約 金 額：8,532,000円 契約締結日：平成30年 7 月19日 担 当 部 局：東北財務局 落札率が高かった要因は何か。 業者間の入札金額に差があるが、要因は何か。 【総評】 落札率が低い場合、次回以降の予定価格算定において反映させていただきたい。	今回は1回目の開札では落札せず、2回目で落札したことから、結果的に高い落札率となったものであり、当局の予定価格が市場価格に近接していた結果と考えている。 入札金額の主な構成は人件費であることから、点検業務を履行するための人件費の積算の仕方により差が生じたものと考えている。また、落札業者は、過去の本件業務の受注実績を生かし、効率的に業務を遂行できることから価格差が生じたと考えている。